

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				平成	26	年度
事業番号	21	事業名		庁舎管理費		
担当課	総務課		担当係	財政係		
総合計画に最も関連ある施策	施策	1	住民一人ひとりが主役のまちづくり		連絡先	76-0201
	施策体系	4	健全な行・財政運営の推進		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規
	主な事業	庁舎の維持管理		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費		事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町
	項	1	総務管理費			<input type="checkbox"/> その他
	目	3	財産管理費		計画期間	開始
	事業	21	庁舎管理費			終了

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 八頭町民、その他来庁者、職員。		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 町民等来庁される方々が安全に、安心して使用できる施設とするとともに、利用しやすい施設とすること。また、職員が行政業務を執行するために必要な職場環境を確保すること。		
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 日常の清掃業務、夜間及び休日における問合せ等の宿日直業務、消火器の更新・電気工作物や消防設備の保守管理等の設備の安全管理、また、電話機・電気設備・備品等の修繕等の各種設備の管理。		
事業の手段	どうする方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 ①清掃員による清掃(通年)。②宿日直員による夜間及び休日における問合せ等の対応(通年)。③消火器の更新:専門業者へ発注。④電気工作物や消防設備の保守管理等の設備の安全管理:各専門業者は委託(通年)(庁舎の維持管理に関する委託業務の業者選定は、入札等の実施・複数年契約の締結により経費の削減を行う。)④電話機・電気設備・各種備品等の修繕:各業者へ発注(随時)。		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 各種設備の日常保守管理の適正な執行、また、地震等の災害に備えるために必要な庁舎の整備を行い、安全で安心な施設とするとともに、明るく清潔感があり、バリアフリーに配慮した利用しやすい施設とすること。また、職員が円滑に行政業務を執行できるよう快適な職場環境を確保すること。		
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし	法令等名→ 八頭町役場庁舎等管理規則

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし
	A	千円	法令に基づく各種保守点検委託業務を複数年契約で入札等により経費の削減
	B	千円	空調設備保守点検方法の見直し
	C		
	D		
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし
	A		
	B		
	C		
	D		

4 コスト

区分		単位	23年度	24年度	25年度		26年度		27年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	千円	872	853	897	890	897	918	983
	B	千円	961	903	273	273	273	281	281
	C								
	D								
成果指標	A								
	B								
	C								
	D								
トータルコスト		千円	25,315	21,241	21,421	20,500	15,813	15,919	16,957
担当職員数		人	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
職員人件費		千円	246	246	240	240	240	240	240
事業費		千円	25,069	20,995	21,181	20,260	15,573	15,679	16,717
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円							
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円	2,359	2,380	1,000	2,277	1,000	2,356	2,208
	一般財源(単町費)	千円	22,710	18,615	20,181	17,983	14,573	13,323	14,509

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 26 年度

実施活動内容・ 成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)	
	町政運営に当たり庁舎の維持管理は当然の責務であり、安全で快適な町民等が立ち寄りやすい庁舎管理を行う。	
	成果(具体的に)	
	災害時等の避難所及び災害対策本部として使用できるように耐震工事を行った。	

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	維持管理は、町政の運営に必要不可欠必要である。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	庁舎の使用に関して、借家等では使用の制限等が考えられるため、庁舎の管理を町で行うのは妥当である。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	法令に基づく各種機器の点検業務について、複数年契約を行うことで委託料等のコスト削減につながる。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	町民の安心・安全な暮らしを支えるためにも緊急性は高いと思われる。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	複数年契約を基本として、法令に基づく各種機器の保守点検業務について入札による業者選定を行ったことで、ある程度の成果は達成されたと思われる。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
2	1、拡充する	80点以上	79	町民の暮らしを支える拠点施設として耐震補強を行い、安全性の向上を図ることができた。今後は現有施設の適正な管理を行い、来庁される町民の利便性の向上を図ります。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点	2	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
2	1、拡充する	行政運営の拠点として、耐震補強が図られたことにより、災害時等の対策本部設置や情報発信の拠点としてその役割を果たすことができることとなった。また行政サービスの拠点として安心して安全な本部庁舎として、広く町民等の来庁者の利便性を図る必要があります。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所
	経費の節約が必要だが、庁舎の老朽化に伴い建物の傷み等が目立ち修繕等が増えているため厳しい状況である。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか
	各種機器の保守点検業務等について、現在、複数年契約等により安価な契約になっているが、不必要な契約がないか更にチェックを行い、可能な範囲で経費の節約に努める。